

いのちの大切さ学び教室(3 学年)

12月14日(木)に3年生を対象とし助産師の前田美佐代先生による、いのちの大切さ学び教室を実施しました。

体育館で行われた各種体験では、赤ちゃんの抱き方やあやし方、マタニティ体験や出産劇の体験を行いました。マタニティ体験をした生徒は「重たい」「圧迫されている感じがする」等の感想を述べながら、大きくなっているお腹を自然と優しく抱えて立っている様子が見られました。赤ちゃん人形を使用しての抱っこ体験では、赤ちゃんに優しく声をかけてから抱き上げたり、赤ちゃんが安心できるゆったりとした動きであやしていました。

また、多目的教室で行われた講話では、若年者の妊娠の危険性やいのちを授かるにおいて知識を持っておくことの大切さ、母体保護法、人工妊娠中絶、生殖医療、女性の体の変化について学ぶことができました。

卒業を控えた生徒たちにとって、人生をともに歩む相手への配慮と思いやり、大人としての良識などについて思いを巡らしつつ、いのちに向き合うかけがえのない経験となりました。

